

川崎市港湾局建設現場の遠隔臨場
に関する試行要領

令和4年10月

川崎市港湾局

1. 目的

本要領は、川崎市港湾局発注工事の建設現場において、「段階確認」、「施工状況（出来形）検査」、「材料検査（確認含む）」及び「立会」を必要とする業務に遠隔臨場を適用して、受発注者の業務効率化を図るために、必要な事項を定めるものである。

2. 用語の定義

（1）遠隔臨場

遠隔臨場とは、ウェアラブルカメラ等の動画撮影用カメラにより撮影した映像と音声を Web 会議システム等の双方向通信を使用して「段階確認」、「施工状況（出来形）検査」、「材料検査（確認含む）」及び「立会」を行うこと。

（2）ウェアラブルカメラ

ヘルメットや体に装着・着用可能（ウェアラブル：Wearable）なデジタルカメラの総称であり、使用製品を限定するものではない。一般的なスマートフォンやタブレット等のモバイル端末を使用することも可能である。

3. 対象工事

原則として、川崎市港湾局が発注する全ての工事を対象として、受発注者間の協議により、受注者が希望する場合に実施できるものとする。

4. 適用の範囲

本要領は、所定の性能を有する遠隔臨場の機器等を用いて、「川崎市港湾工事共通仕様書」及び「川崎市土木工事共通仕様書」に定める「段階確認」、「施工状況（出来形）検査」、「材料検査（確認含む）」及び「立会」を実施する場合に適用する。

ウェアラブルカメラ等の動画撮影用カメラの機器を用いて、Web 会議システム等の双方向通信を使用することにより、監督員が確認するのに十分な情報を得ることができた場合に、臨場に代えることができるものとする。なお、監督員が十分な情報を得られなかったと判断する場合には、受注者にその旨を伝え、改善を図ることが困難な場合には、通常通り臨場により確認を実施する。

なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」、「施工状況（出来形）検査」、「材料検査（確認含む）」及び「立会」だけでなく、現場の不一致、事故などの報告等でも活用が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

（1）段階確認

『川崎市土木工事共通仕様書』に定める「段階確認」を実施する場合において、段階確認一覧【別紙1】に示す「遠隔臨場適用」に記載する項目・内容について、遠隔臨場を適用することができる。ただし、記載された項目以外につ

いても、監督員と協議したうえで、確認に十分な情報を得ることができると判断した場合には、遠隔臨場を適用することも可能とする。

(2) 施工状況（出来形）検査

『川崎市港湾工事共通仕様書』に定める施工状況（出来形）検査を実施する場合において、港湾工事施工状況（出来形）検査一覧【別紙2】に示す「遠隔臨場適用」に記載する項目・内容について、遠隔臨場を適用することができる。ただし、記載された項目以外についても、監督員と協議したうえで、確認に十分な情報を得ることができると判断した場合には、遠隔臨場を適用することも可能とする。

(3) 材料検査（確認を含む）

『川崎市土木工事共通仕様書』、『川崎市港湾工事共通仕様書』に定める、工事材料の品質及び検査（確認を含む）を実施する場合において、遠隔臨場を適用することができる。

工場製作工（共通）において、受注者は鋼材に JIS マーク表示のないものについては、ウェアラブルカメラ等の動画撮影用カメラの機器を用いて以下のとおり確認するものとする。

- 鋼材に製造ロット番号等が記され、かつ、これに対応するミルシート等が添付されているものについては、ミルシート等による品質確認及び現物による員数、形状寸法の確認
- 鋼材の製造ロット番号等が不明で、ミルシート等との照合が不可能なものうち、主要構造部材として使用する材料については、機械試験による品質確認及び現物による員数、形状寸法確認による材料確認
- 上記以外の材料については、現物による員数、形状寸法確認

(4) 立会

『川崎市土木工事共通仕様書』及び『川崎市港湾工事共通仕様書』に定める「立会」を実施する場合において、遠隔臨場を適用することができる。

5. 遠隔臨場による段階確認等の実施

(1) 施工計画書の提出

受注者は、監督員と調整のうえ、遠隔臨場の適用（確認する項目・内容・予定回数）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、実施記録の方法を記載した施工計画書を作成し、事前に提出する。

(2) 事前準備

受注者は、遠隔臨場の実施に先立ち、監督員に「確認・立会願」、「材料検査願」等、通常の立会いで必要な書類を提出し、実施時間、実施個所（場所）や必要とする資料等について確認を得ること。

なお、監督員による確認・立会の実施時間は、監督員の勤務時間内とする。ただし、やむを得ない理由があると監督員が認めた場合はこの限りではない。

(3) 機器等の手配

受注者は、遠隔臨場の実施に必要な機器の手配や通信環境等の準備を行うものとする。また、利用するアプリケーションまたはサービス等の仕様については、監督員が保有するインターネット通信が可能な端末等で利用が可能であり、かつ、監督員の利用に際して通信費以外の費用が新たに生じないものを受注者が選定する。

(4) 実施

受注者は、「工事名」、「工種」、「確認内容」、「設計値」、「測定値」、や「使用材料」等の必要な情報について適宜黒板等を用いて表示する。記録にあたり、必要な情報を冒頭で読み上げ、監督員による実施項目の確認を得ること。また、終了時には、確認個所の内容を読み上げ、監督員による実施結果の確認を得ること。

(5) 実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通信中の監督員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。なお、受注者は、遠隔臨場の実施結果及び実施記録を工事打合せ書により提出すること。

6. 費用

受注者が行う機材等の手配に要する費用は、別途計上しない。

7. アンケート調査等への協力

今回の試行を通じた効果の検証および今後の課題の抽出のため、受注者や監督員を対象としたアンケート調査等の依頼があった場合は協力するものとする。

8. 留意事項

- 受注者は、被撮影者である当該工事現場の作業員に対して、撮影の目的、用途等を説明し、承諾を得ること。
- 受注者は、ウェアラブルカメラ等の動画撮影用カメラで撮影する場合、作業員のプライバシーを侵害する音声配信される場合があるため留意すること。
- 受注者は、施工現場以外ができる限り映り込まないように留意すること。
- 受注者は、公的ではない建物の内部等、見られることが予定されていない場所が映り込まないように留意すること。
- 本要領によりがたい場合は、適宜受発注者間で協議すること。

附則

この要領は、令和4年10月1日から施行する。

段階確認一覧

種 別	細 別	確認時期	確認項目	遠隔臨場適用
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	
掘削工		土質の変化した時	土質の変化位置	
道路土工 (路床盛土工) 舗装工 (下層路盤工)		フルフローリング 実施時	フルフローリング 実施状況	
安定処理工	路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	使用材料
	置換	掘削完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	使用材料
固結工	薬液注入 高圧噴射攪拌	施工時	使用材料、深度、注入量	使用材料
矢板工 (仮設を除く)	鋼矢板 鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	使用材料、長さ
		打込完了時	基準高、変位	
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	使用材料、長さ
		打込完了時	基準高、偏心量	
		掘削完了時 (中掘杭)	掘削長さ、杭の先端土質	掘削長さ
		施工完了時 (中掘杭)	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	杭頭処理状況
場所打杭	リバーシブル杭 ホールディング杭 アースリール杭 大口径杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤	掘削長さ
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	杭頭処理状況

種 別	細 別	確認時期	確認項目	遠隔臨場適用
護岸工	法覆工（覆土施工がある場合）	覆土前	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	
重要構造物 函渠工（樋門、樋管を含む） 躯体工（橋台） RC 躯体工（橋脚） RC 擁壁 共同溝本体工 その他		土質の変化した時	土質変化位置	
		床掘掘削完了時	支持地盤（直接基礎）	
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比
		埋戻し前	設計図書との対比 （不可視部分の出来形）	
躯体工 RC 躯体工		沓座の位置決定	沓座の位置	
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比
鋼橋		仮組立完了時 （仮組立が省略の場合除く）	キャンパ、寸法	
ポ ステンション T 桁製作工 フ レキャストブ ロック桁組立工 プ レーム桁製作工 P C 桁製作工 床版・横組工		プレストレス 導入完了時 横締完了時	設計図書との対比	設計図書との対比
		プレストレス 導入完了時 縦締完了時	設計図書との対比	設計図書との対比
		P C 鋼線・鉄筋組立完了時（工場製作を除く）	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比

港湾工事施工状況（出来形）検査一覧

工種	種別（項目）	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用	
浚渫工	ポンプ浚渫工	浚渫完了時	水深（底面、法面）		
	グラブ浚渫工	浚渫完了時	水深（底面、法面）		
	硬土盤浚渫工	浚渫完了時	水深（底面、法面）		
	岩盤浚渫工	浚渫完了時	水深（底面、法面）		
	バックホウ浚渫工	浚渫完了時	水深（底面、法面）		
埋立工	固化工	事前混合処理完了時	延長、天端高、天端幅		
		表層固化処理完了時	延長、天端高、天端幅、厚さ		
	埋立工	ポンプ土取埋立完了時 グラブ土取埋立完了時 ガット土取埋立完了時			
		埋立土工	土砂掘削完了時 土砂盛土完了時	地盤高、幅、法長、延長	
海上地盤改良工	床掘工	ポンプ床掘完了時 グラブ床掘完了時 硬土盤床掘完了時 砕岩床掘完了時 バックホウ床掘完了時	水深（底面、法面）		
		置換工	置換完了時	延長、天端高、天端幅、法面	
		圧密・排水工	サンドドレーン杭打設完了時	位置、天端高、先端深度、砂の投入量	位置、天端高、先端深度、砂の投入量
			敷砂完了時 載荷完了時	延長、天端高、天端幅、法面勾配	
			ベーパードレーン杭打設完了時	位置、天端高、先端深度、ドレーン材の打込長	位置、天端高、先端深度、ドレーン材の打込長
	締固工	サンドコンパクションパイル完了時	位置、天端高、先端深度、砂の投入量、盛上り土	位置、天端高、先端深度、砂の投入量	
		敷砂完了時	延長、天端高、天端幅、法面勾配		

工 種	種別 (項目)	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
海上地盤改良工	固化工	深層混合固化処理杭完了時	位置、鉛直度接合、天端高、先端深度、固化材吐出量、盛り量	位置、鉛直度接合、天端高、先端深度、固化材吐出量
基礎工	基礎盛砂工	盛砂完了時	延長、天端高、天端幅、法面勾配	
	洗掘防止工	マット敷設完了時	敷設位置、重ね幅、延長	
	基礎捨石工	石投入完了時 (均しを行わない面) 荒均し完了時	天端高、法面、天端幅、延長	
		本均し完了時	天端高、天端幅、延長	
	基礎ブロック工	製作完了時	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線
			型枠形状寸法 (異形)、ブロック外観 (異形)	型枠形状寸法 (異形)
据付完了時		法線出入、間隔、延長、天端高		
本体工 (ケーソン式)	ケーソン製作工	摩擦増大マット敷設完了時	敷設位置	
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比
		製作完了時 (各ロット 毎及び完了時)	高さ、幅、長さ、壁厚、底版厚さ、フーチング高さ、対角線、バラスト	
	ケーソン進水据付工	据付完了時	法線出入、据付目地間隔、天端高さ、延長	
	中詰工	砂・石材中詰完了時 コンクリート中詰完了時 プレキャストコンクリート中詰完了時	天端高	天端高

工 種	種別（項目）	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
本体工（ケソ式）	蓋コンクリート工	製作完了時	天端高	天端高
	蓋ブロック工	製作完了時	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線
		据付完了時	天端高	天端高
本体工（ブロック式）	本体ブロック製作工	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比
		製作完了時（各ロット毎及び完了時）	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線
			型枠形状寸法（異形）、外観（異形）	型枠形状寸法（異形）
	本体ブロック据付工	据付完了時	法線出入、間隔、延長、天端高	
	中詰工	砂・石材中詰完了時 コンクリート中詰完了時 プレキャストコンクリート中詰完了時	天端高	天端高
	蓋コンクリート工	製作完了時	天端高	天端高
	蓋ブロック工	製作完了時	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線
		据付完了時	天端高	天端高
本体工（場所打式）	場所打コンクリート工	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	使用材料、設計図書との対比
		製作完了時	管理基準による	
	水中コンクリート工	製作完了時	管理基準による	
	プレキャストコンクリート工	製作完了時	管理基準による	
	水中不分離性コンクリート工	製作完了時	管理基準による	
本体工（捨石・捨ブロック式）	洗掘防止工	マット敷設完了時	敷設位置、重ね幅、延長	
	本体捨石工	石投入完了時（均しを行わない面） 荒均し完了時	天端高、法面、天端幅、延長	

工種	種別(項目)	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
本体内(捨石・捨ブロック式)	捨ブロック工	製作完了時	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線
			型枠形状寸法(異形)、ブロック外観(異形)	型枠形状寸法(異形)
		据付完了時	法線出入、間隔、延長、天端高	
	場所打コンクリート工	基礎砕石施工完了時		
		製作完了時	天端幅、法線出入、天端高、延長	
本体内(鋼矢板式)	鋼矢板工	打込完了時	打込記録、矢板壁延長、法線に対する出入り、傾斜、法線方向の傾斜、天端高、継手部の離脱	
	控工	控鋼矢板打込完了時	打込記録、矢板壁延長、法線に対する出入り、傾斜、法線方向の傾斜、天端高、継手部の離脱	
		控鋼杭打込完了時	打込記録、杭頭中心位置、杭天端高、杭の傾斜	
		腹起取付完了時	取付高さ、継手位置、ボルトの取付け、矢板と腹起との密着	
		タイ材取付完了時(タイロッド取付)	取付高さ、矢板法線に対する取付角度及び取付間隔、定着ナットの締付け、ターンバックルのねじ込み長さ、リングジョイントのコンクリートへの埋込み、支保材の天端高	

工 種	種別 (項目)	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
本体工 (鋼矢板式)	控工	矢材取付完了時 (ワイヤ-取付)	取付高さ、矢板法線 に対する取付角度 及び取付間隔、定着 ナットの締付け、定着 具端部栓の取付け、 トランプ ナットの取付	
本体工 (コンクリート矢 板式)	コンクリート矢板工	打込完了時	矢板壁延長、法線に 対する出入り、法線 に対する傾斜、法線 方向の傾斜、天端 高、継手部の離脱	
	控工	打込完了時 腹起取付完了時 矢材取付完了時	本体工 (鋼矢板式) 控工を準用	
本体工 (鋼杭式)	鋼杭工	打込完了時	打込記録、杭頭中心 位置、杭天端高、杭 の傾斜	
本体工 (コンクリート杭 式)	コンクリート杭工	打込完了時	本体工 (鋼杭式) 鋼杭工を準用	
被覆・根固工	被覆石工	石投入完了時 (均しを 行わない面)	天端面	
		均し完了時	天端面、法面、天端 幅、延長	
	被覆ブロック工	製作完了時	ブロック外観 (異形)	
		据付完了時	延長	
	根固ブロック工	製作完了時	幅、高さ、長さ、壁 厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁 厚、対角線
		据付完了時	延長	
上部工	上部コンクリート工	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書 との対比	使用材料、設計図 書との対比
		製作完了時	天端高又は厚さ、天 端幅、延長、法線に 対する出入、防舷材 バット (岸壁)	

工種	種別(項目)	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
上部工	上部ブロック工	製作完了時	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線
		据付完了時	上部工 上部コンクリート工を準用	
付属工	係船柱工	製作完了時	高さ、頭部、胴部、基礎部	高さ、頭部、胴部、基礎部
		据付完了時	天端高、岸壁前面に対する出入、中心間隔 直柱基礎コンクリート 幅、長さ、高さ	天端高、岸壁前面に対する出入、中心間隔 直柱基礎コンクリート 幅、長さ、高さ
	防舷材工	設置完了時	取付高さ、中心間隔	取付高さ、中心間隔
	車止・縁金物工	施工完了時	天端高、岸壁前面に対する出入、取付間隔、警戒色	天端高、岸壁前面に対する出入、取付間隔、警戒色
	防食工	電気防食完了時	取付高さ	取付高さ
		ペトログラム被覆完了時 FRPモルタル被覆完了時 コンクリート被覆完了時 防食塗装完了時	取付高さ及び被覆範囲	取付高さ及び被覆範囲
		付属設備工	係船環設置完了時	取付位置
消波工	洗掘防止工	マット敷設完了時	敷設位置、重ね幅、延長	
	消波ブロック工	製作完了時	型枠形状寸法(異形)、ブロック外観(異形)	型枠形状寸法(異形)
		据付完了時	延長	
裏込・裏埋工	裏込工	石投入完了時(均しを行わない面)	天端高、幅、法面	
		均し完了時	延長	
		マット敷設完了時	敷設位置、重ね幅、延長	
	裏埋工	材料投入完了時	地盤高(陸上・水中部)	
	裏埋土工	土砂掘削完了時 土砂盛土完了時	地盤高、幅、法長、延長	

工種	種別(項目)	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用	
陸上地盤改良工	圧密・排水工	サトドレン杭打設完了時	位置、天端高、先端深度、砂の投入量	天端高、先端深度、砂の投入量	
		敷砂均し完了時 載荷完了時	延長、天端高、幅、法面勾配(陸上部・水中部)		
		ペーパートレン杭打設完了時	位置、天端高、先端深度、ドレン材の打込長		
		グラベルマット敷均完了時	延長、天端高、幅、法面勾配(陸上部・水中部)		
		グラベルドレン杭打設完了時	位置、天端高、先端深度、碎石の投入量		
	締固工	ロッド引抜き完了時	位置、天端高、先端深度、充填材の投入		
		サトコンパクションパイル完了時	位置、天端高、先端深度、砂の投入量、盛上り量	天端高、先端深度、砂の投入量	
		盛上土砂撤去	撤去量		
	固化工	深層混合固化処理杭完了時	位置、鉛直度接合、天端高、先端深度、固化材吐出量、盛上り量	鉛直度接合、天端高、先端深度、固化材吐出量	
		敷砂完了時	延長、天端高、幅、法面勾配(陸上部・水中部)		
		事前混合処理完了時	延長、天端高、天端幅(陸上部・水中部)		
		表層固化処理完了時	延長、天端高、天端幅、厚さ		
	土工	掘削工	土砂掘削完了時	地盤高、幅、法長、延長	
		盛土工	土砂盛土完了時	地盤高、幅、法長、延長	

工 種	種別 (項目)	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
土工	路床盛土工	盛土完了時	高さ、幅、延長	高さ、幅、延長
	法面工	盛土完了時	地盤高、幅、法長、延長	
舗装工 (道路舗装工)	コンクリート舗装工	下層路盤完了時	高さ、厚さ、幅、延長	高さ、厚さ、幅、延長
		上層路盤完了時	厚さ、幅、延長	厚さ、幅、延長
		舗装完了時	厚さ、幅、延長、平坦性	厚さ、幅、延長、平坦性
	アスファルト舗装工	下層路盤完了時	高さ、厚さ、幅、延長	高さ、厚さ、幅、延長
		上層路盤完了時	厚さ、幅、延長	厚さ、幅、延長
		基層完了時 表層完了時	厚さ、幅、延長、平坦性 (表層のみ)	厚さ、幅、延長、平坦性 (表層のみ)
維持補修工	維持塗装工	係船柱塗装完了時 車止塗装完了時 縁金物塗装完了時	塗装箇所	
	防食工	電気防食完了時	電位測定 取付位置 (潜水土による)	電位測定 取付位置 (潜水土による)
		FRPモルタル被覆完了時	取付高さ (被覆範囲)	取付高さ (被覆範囲)
		ペトロール被覆完了時	取付高さ (被覆範囲)	取付高さ (被覆範囲)
		コンクリート被覆完了時	高さ (被覆範囲)	高さ (被覆範囲)
		防食塗装完了時	高さ (被覆範囲)	高さ (被覆範囲)
構造物撤去工	取壊し工	コンクリート取壊し完了時	幅、高さ、延長、外観	
	撤去工	水中コンクリート撤去完了時 鋼矢板等切断撤去完了時 舗装版撤去完了時 石材撤去完了時	幅、高さ、延長、外観	

工 種	種別（項目）	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
構造物撤去工	撤去工	ケ-ソ撤去完了時 ブロック撤去完了時 鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去完了時 腹起・タイ材撤去完了時	形状寸法、外観	
仮設工	仮設鋼矢板工	仮設鋼矢板・H形鋼杭打込完了時 (指定仮設に限る)	矢板天端高、根入長	
	仮設鋼杭・鋼管矢板工	先行掘削	位置、掘削長、掘削深度、掘削径	
		鋼杭打込完了時 (指定仮設に限る)	打込記録、杭頭中心位置、杭天端高、杭の傾斜	
		鋼管矢板打設完了時 (指定仮設に限る)	打込記録、矢板壁延長、法線に対する出入り、法線に対する傾斜、法線方向の傾斜、天端高、継手部の離脱	
仮設道路工	施工完了時 (指定仮設に限る)	舗装工 コンクリート舗装工及びアスファルト舗装工を適用する		
雑工	現場鋼材溶接工	現場鋼材溶接完了時	のど厚、脚長、溶接ひずみ、有害な欠陥の有無	
		被覆溶接（水中）完了時	のど厚、脚長、溶接等外観	
		スタッド溶接（水中）完了時	のど厚、脚長、溶接等外観	
	現場鋼材切断工	切断完了時	形状寸法、外観（目視による観察）	
	その他雑工	清掃完了時	幅、長さ、延長、外観	
		削孔完了時	形状寸法、外観	形状寸法、外観

工 種	種別（項目）	検査時期	確認項目	遠隔臨場適用
道路舗装工	道路付属工	縁石設置完了時	高さ、総延長	高さ、総延長
		区画線及び道路標示 塗装完了時	幅、長さ	幅、長さ
		道路標識設置完了時	高さ	高さ
		防護柵設置完了時	高さ、延長	高さ、延長
緑地工	植生工	張芝完了時 筋芝完了時 播種完了時 種子吹付完了時	材料の使用数量、長さ、幅（面積）、植生状況	
		植栽完了時	材料の使用数量、樹高、枝張り幅、幹周り、植付け状況	

川崎市港湾局建設現場の遠隔臨場に関する試行アンケート

記入日 令和 年 月 日

件名	
会社名	
現場代理人	
連絡先	

遠隔臨場を 実施した業務	
-----------------	--

アンケート
1. 遠隔臨場の実施にあたって工夫した部分、又は、苦勞した部分

2. 遠隔臨場により業務を効率化できた時間
〇〇業務 : 〇〇〇分

〇〇業務 : 〇〇〇分

3. その他、意見・要望等を記載ください

工事完成届提出後 14 日以内に監督員に御提出ください。